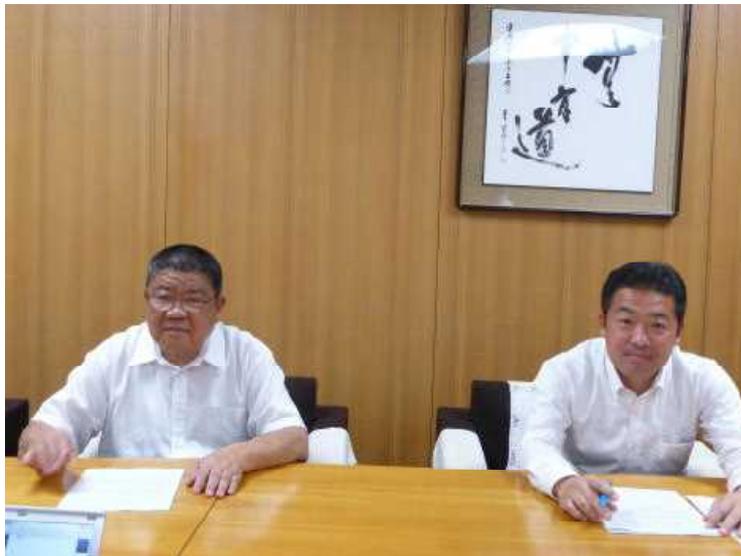


## ◆ 議長記者会見概要

日 時：平成29年7月3日（月）18：30～18：40

場 所：県議会理事者控室

出席者：岩田国夫議長、松尾勇臣副議長



岩田国夫議長

松尾勇臣副議長

### 〈就任にあたって〉

#### ○岩田議長

この度、多数の議員各位のご支持により、議長に選出いただきました。この職につきましましたことは、誠に光栄に存じますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

現在奈良県議会では、政策提案や情報開示等、開かれた議会を目指して積極的に取り組んでおり、県民の皆さまにより分かりやすい運営を引き続き取り組むとともに、県民の皆さまの負託にお応えしてまいります。

二元代表制の一翼を担う議会の代表者として、理事者とも十分議論しながら県政の発展のため、職責を全うする所存です。

県民の皆さまをはじめ、知事・市町村長並びに報道機関の皆さま方には、一層のご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。議長就任にあたりましてのご挨拶といたします。

#### ○松尾副議長

この度、多数の議員各位のご支持により、副議長に選ばれ、誠に光栄に存じますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

今後も県政の課題に関して十分議論を尽くしながら、さらなる議会改革に向け、県民の皆さまのお声に耳を傾けながら、議会の監視機能を十分発揮し、奈良県の行政改革をさらに進めていきたいと思っています。そして、しっかりと議長を補佐していきたいと思っています。

関係各位の皆さまには一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。就任にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

## <質 疑>

記者：今奈良県議会として抱えておられる課題はありますか。

岩田議長：今議会は改革に取り組んでいる真っ最中ですので、引き続き取り組んでいきたいと思えます。

記者：おふたりとも、議長、副議長になられるのははじめてでしょうか。

岩田議長：はい、そうです。

記者：議会改革ですが、さらなる改革でどんなことをしてみたいですか。

松尾副議長：昨年度の各派連絡会で議題になったのですが、議員報酬の削減、選挙区の見直しという議論になってくると思えます。県民の皆さんからすれば、議会改革というのはどこまでやっても永久の課題だと思えます。

記者：選挙区の見直しというのは、議員削減ということですか。

松尾副議長：これから委員会を立ち上げ、その中で検討していくのがよいのではないかと考えています。

記者：それぞれ何票獲得したかということはご存じかと思えますが、どのような方々が支援してそうになっているか、票数も分かれています、議会運営するうえで、どうでしょうか。

岩田議長：結果はあのような形ですが、議員43人絶えず、県民のために議会運営を行う、という思いは同じです。

松尾副議長：しっかりと職責を全うするだけです。

記者：副議長は、日本維新の会として、知事と対立していますが、副議長との棲み分けなどはいかがですか。

松尾副議長：議会と理事者は車の両輪だということをよく言われますけれども、我々の監視機能があった上での両輪ですから。私たちは反対ばかりしているわけではなく、賛成もたくさんしていますので。よいことはスピード感を持って進めていただけるように、協力させていただきまますし、監視機能をしっかりと強化していくことをしないとイケません。それが本来の議会のあるべき姿だと思っています。副議長になったからと言って、その立ち位置は全く変わりません。

岩田議長：まず大事なのはチェック機能です。

記者：先ほどから何度も議会改革という話がありましたが、新しい正副議長お二人で、これはやっていきたいなと相談しようということは考えておられますか。

岩田議長：まだお互い選出されたばかりなので、これからゆっくりと話し合っていきたいと思えます。

松尾副議長：二人で話してできることばかりではありません。進めるにあたっては、まわりの方々のご意見もいただきながらやっていきたいと思えます。